

平成17年/2005

No. 6

野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

秋冷の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当野口顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、本年度の各事業は計画どおりに推移し、『野口賞』授賞式および校外授業「会社はどんなところ!!」(第2回)を残して終了いたしました。実施状況につきまして別紙のとおりご報告いたします。

特に本年度は『ジュニア科学者の翼』事業が第5回を終了したことから、“第1回～第5回までの派遣研修生の集い”を実施いたしました。第1回に参加した研修生は現在高校3年生になっていますが、この派遣研修生の中に『ジュニア科学者の翼』に参加したことがきっかけで「ロボットを動かすプログラムを作りたい」、「救命医療の現場で活躍したい」、また「科学者・地質学者を目指したい」などの目標・夢を持ち、その実現に向かって頑張っている・との発表を聞いて大変心強く思いました。そして、この『ジュニア科学者の翼』事業に取り組んで本当によかった、これからもこの事業を継続していきたいとの思いを新たにいたしました。

当野口顕彰会が発足して5年が経ちましたが、各事業がようやく定着してまいりました。これからも一層の充実・発展のため鋭意努力してまいりたいと考えています。

今後とも皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成17年11月

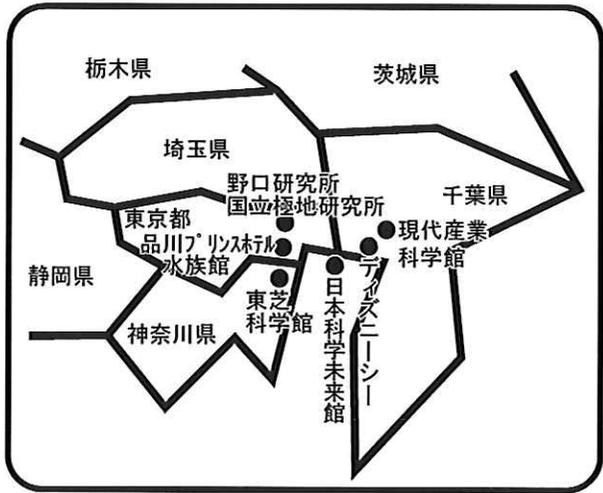
# 青少年科学技術派遣

## 《第5回『ジュニア科学者の翼』》

科学技術への関心を高め、"夢"と"ロマン"を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月26日(火)～29日(金)の3泊4日の日程で実施しました。

一般に公開していない研究所や、身近な家電製品や産業の推移を通じ科学技術の進歩を学習したり、最先端の技術が医療・情報・環境・宇宙等の分野で紹介されていて、研修生の皆さんも新しい世界を見聞きし体験したことで、新しい知識を得るとともに視野が大いに広がり、貴重な体験となりました。

そして、今回は旭有機材工業(株)岡野社長のご厚意により、本年4月にオープンして間もない品川プリンスホテル水族館を見学することができました。この水族館を支えている給排水システムに、同社(延岡)の高い技術力が使われていることを知って研修生の皆さんは誇らしく思いました。



〈訪問研修先〉

『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名 (男子6名：女子5名)

氏名	学校・学年
兒玉泰俊	旭中学校2年生
陣勇氣	南中学校2年生
鈴木友貴	東海中学校2年生
長野智	土々呂中学校2年生
小林克行	尚学館中学校2年生
甲斐惣太	向山中学校3年生
石本美喜	恒富中学校2年生
甲斐紀帆	岡富中学校2年生
原田美和	旭中学校2年生
二之宮冴美	西階中学校2年生
山本梨加	日之影中学校2年生

※引率 赤木繁男 延岡市教育委員会主任主事



千葉県立  
現代産業科学館



東芝科学館

## “『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い” 事業



『ジュニア科学者の翼』事業が今年で5回を終了したことから、去る10月10日(月)旭化成向陽倶楽部において開催しました。第1回(平成13年)から第5回までの派遣研修生とそれぞれの引率の先生、あわせて37名の皆さんが出席しました。

各回ごとに分かれてテーブルに着き、それぞれの引率の先生から当時の訪問館の特徴や研修内容について説明があった後、久しぶりに顔をあわせた皆さんたちは、思い出話や研修の意義や感想などの話で盛り上がりました。そして、それぞれの回の代表が感想を発表しました。

第1回に参加した延岡工業高校3年生の岡川達也君は「日本科学未来館でロボットを動かすのを見て、プログラムが作れたらいいなあ…と思い現在プログラムの勉強をしている。引き続き大学へ進学してこの夢を実現したい。この夢を持てたのはこの研修に参加したおかげです」と。

また、第3回に参加した高千穂高校1年生の佐藤良亮君は「救命救急士になり、救急医療の現場で活躍したいと思っている。この研修参加が大きな土台となりました」と発表しました。

さらに、今年の第5回に参加した高千穂町向山中学校3年生の甲斐惣太君は「化石や地質などを調べることに興味を持っていたが、将来は科学者・地質学

者になりたい。この研修に参加して強く思うようになった」と。

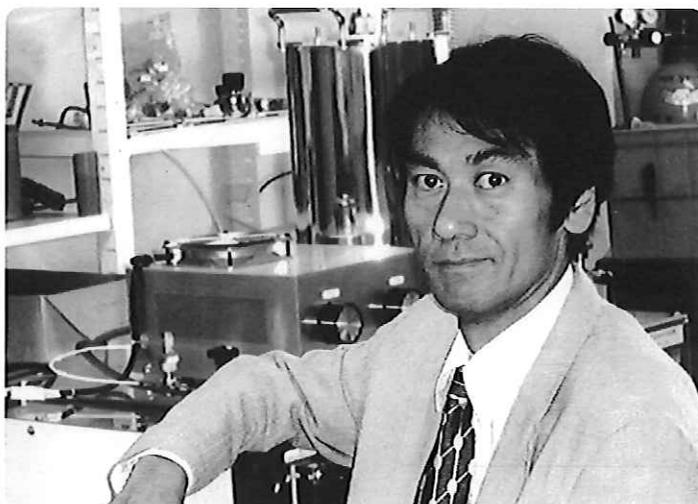
なごやかな雰囲気の中でこの“集い”を終えましたが、発表された皆さんのこの力強い感想を聞いて、あらためて『ジュニア科学者の翼』事業の意義を確認することができました。この事業をこれからも継続していきたいと思います。

## 第5回『野口賞』授与事業

### 《宮崎大学工学部 横谷篤至助教授が『奨励賞』を受賞》

第5回『野口賞』に2件の応募があり、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、宮崎大学工学部 横谷篤至助教授(46)応募の研究テーマ『真空紫外光源とその応用分野の開発研究』が『奨励賞』に決定しました。

授賞式は11月30日(水)ホテルメリージュ延岡にて行い、賞状と賞金50万円を贈呈いたします。また授賞式に引き続き、受賞テーマにて横谷助教授の講演があります。



## 副読本縮刷版の配付事業

### 《のべおか新興の母 野口 遵》

平成15年5月に作成しました、中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」(冊子)の縮刷版(B6版)を新たに作成して、延岡市、高千穂町、日之影町の中学校22校の2年生全員に5月末に配付いたしました(計1,700冊)。



この事業は、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなどを、生徒一人ひとりに十分理解してもらうために行っているもので、来年以降も継続して実施いたします。



## "校外授業『会社はどんなところ!!』"事業

### 《第1回は吉玉精鍍(株)を訪問》

本年度の新たな事業として延岡市内の中学生を対象に、市内の各企業を訪問して、その企業の優れた技術とその技術が社会でどのように役に立っているか、また、経営者から「経営の理念や考え方」などの貴重な話を直接聞いて現在社会の現実を理解し、生徒たちの考え方や今後の進路に参考になることを目的に、第1回目を8月1日(土)、延岡・岡富・恒富・南・西階の5中学校より20名の生徒が参加して旭化成延岡展示センター見学と吉玉精鍍(株)を訪問・研修しました。

旭化成延岡展示センターでは、人形の髪の毛にドライヤーをあてると髪の毛の色が変わる実験やコーヒー牛乳を小さなフィルターに注入すると



コーヒー色が取り除かれて透明な液となって出てくる等の"おもしろ実験"を体験しました。

また、吉玉精鍍(株)では吉玉社長から会社の歴史や会社を経営する上での考え方、他社や外国との競争に勝つために技術力の開発に積極的に取り組んでいるなどの説明を受け、主力事業のメッキについて、図解や実験を交えての説明に生徒たちは熱心に聞き入っていました。

参加した生徒は「地元の旭化成や会社（企業）のことがよく分かった、もう一度こんな機会があればまた参加したい」、また、同行した先生のひとりには「延岡にいながら、地元の企業について何も知らない。とても参考になった。また、他の生徒たちも是非参加させたい」との感想を述べました。

第2回目は11月26日(土)、旭化成マイクロシステム製造(株)延岡製造所(LSI工場)の訪問・研修を計画しています。



## 「賛助会員」募集について(お願い)

当顕彰会では「賛助会員」を募集しています。顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 (個人) 1口 1,000円/年間  
※1口以上何口でも結構です。

なお、ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

### ●連絡先

#### 野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666

